

SSS014-P04

会場:コンベンションホール

時間: 5月27日17:15-18:45

駿河湾地震の波動による断層近傍で観測された特徴的応力・歪変動

Characteristic Variation of Stress and Strain Observed near Active Fault Caused by Suruga Bay Earthquake

石井 紘^{1*}, 浅井 康広¹

Hiroshi Ishii^{1*}, Yasuhiro Asai¹

¹東濃地震科学研究所

¹Tono Research Institute of Earthquake Sc

東濃地震科学研究所では原子力研究開発機構 (JAEA) の立坑内の深度200mステージに深度20mのボアホールを掘削し計器を埋設設置し、連続記録を蓄積している。2009年8月11日に駿河湾でM6.5の地震が発生した。これによる波動に伴う傾斜,歪と応力が記録された。波動の到達とともに記録された変化の解析によると近傍の断層と関連あると考えられる結果が得られた。近傍に存在する断層はNNW断層と名付けられており,走向がNNWの断層で右横ずれ断層といわれている。解析結果は地震波の到達に伴い同じNNWの走向を持つ断層が左横ずれ運動をしたと同様な変動結果が得られた。

関連した結果としては前に行なった揚水試験の場合には断層が右横ずれの変動をしており,揚水後の水位の回復に伴い断層が左横ずれの変動をしているような結果が得られている。これらの結果を総合的に考察し,断層運動と水位変化および変動の関連について報告する。

キーワード:応力,歪,駿河湾地震

Keywords: stress, strain